

## JDT2011 の FAQ

### ■ 一般的なお問合せ

No.	お問合せ内容	回答
1	電子申請する際、本体・解説・索引以外に、表紙も作成する必要があるか。	表紙を作成する必要はありません。 規格票発行時に、弊会で作成いたします。
2	操作マニュアル（応用編）の 11 項（白紙横書きページ・ひな形の挿入方法）で横ページを挿入したが、その次のページを A4 縦ページに戻したい。	<p>横ページのひな形を発生させる際に、発生させたい部分の前のページの最後から 2 行目にカーソルを当てた状態で、ひな形を発生させると、横ページの次に A4 縦ページ（白紙）が自動発生されます。</p> <p>ただし、最終行にカーソルを当てた状態で、ひな形を発生させると、横ページの次に A4 縦ページは発生しません。そのような場合、次のページを A4 縦ページに戻す手順は、次のとおりです。</p> <p>&lt;手順&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>横ページの最終行に、カーソルを合わせる。</li> <li>JDT ツールバー [★運用支援（一般）] の [ひな形文書] → [A4 縦長用紙] を選択する。</li> <li>ダイアログが表示されるので、ひな形文書ファイルを選択し（どちらでも可）、[OK] ボタンを押す。</li> <li>発生したひな形の表を削除する。</li> </ol> <p>※Word のセクション区切りで横ページを挿入すると、ページ番号がくるったり、目次の自動作成に支障が出るので、必ず上記の方法で行ってください。</p>
3	操作マニュアル（応用編）の 17 項（その他注意事項）の“◆JDT データ以外からのコピー”の部分を、もう少し噛み砕いた手引のようなものはあるか。 既存の電子データを用いて作業するときに、非常に有効だと思う。	<p>現状、既に電子データがある場合のみに特化した手順書は作成されていません。</p> <p>既存の電子データを開いた際の、具体的な操作方法については、操作マニュアル（応用編）の 2 項（箇条・細分箇条の作成）～3 項（細別の作成）で解説しているので、併せてご参照ください。</p>

No.	お問合せ内容	回答
4	<p>半角のバックスラッシュ“\”を入力しようとすると、“¥”になる。どのように入力すればよいか。</p>	<p>通常の入力方法では、“¥”と表示されます。この場合、次の方法 1 又は方法 2 を行ってください。</p> <p>&lt;方法 1：数式を用いる場合&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入力したい場所にカーソルを合わせる。</li> <li>2. JDT ツールバー [★段落スタイル (一般)] の [数式] → [数式の作成] → [数式の挿入] を選択する。</li> <li>3. 半角のバックスラッシュ“\”を入力し、数式エディタを閉じる。</li> </ol> <p>&lt;方法 2：ファイルのオプションを変更する場合&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Office ボタン又は [ファイル] タブ → [Word のオプション] 又は [オプション] → [詳細設定] → 一番下の [+レイアウト オプション] を開く。[オプション] 内の [バックスラッシュを円記号(¥)に変換する] のチェックを外す。</li> <li>2. 入力したい場所にカーソルを合わせ、半角のバックスラッシュ“\”を入力する。</li> </ol> <p>※方法 2 の場合、“¥”を表示することができなくなります。“¥”及び“\”を同時に表示したい場合は、方法 1 を行ってください。</p>

## ■エラーに関するお問合せ

No.	エラー内容	対処方法
1	JDT2011 のメニューが表示されず、機能が使えない。	<p>次のいずれかの原因が考えられます。</p> <p>①<b>JDT2011 が起動していない</b>  JDT2011 を起動してから、該当ファイルを開いてください。</p> <p>②<b>該当ファイルをダブルクリックで開いた</b>  テンプレートが適用されない状態でファイルが開くことがあります。JDT2011 を開き、“JIS ファイル”→“開く”から該当ファイルを開いてください。</p> <p>③<b>ツールバーが表示されていない</b>  JDT2011 を開き、ツールバーの上で右クリックを押してください。表示された一覧の中から黒い星（★）が前についている項目にチェックを入れると、ツールバーが表示されます。</p> <p>④<b>テンプレートが適用されていない</b>  JDT2011 を起動し、“ファイルメニュー”（Word2007 の場合は“Office ボタン”）→“オプション”（Word2007 の場合はなし）→“Word のオプション”→“アドイン”→“アクティブなアプリケーション アドイン”の中に“JIS テンプレート.dotm”があるかを確認してください。“JIS テンプレート.dotm”がない場合、次の手順でアクティブにします。  “管理”の“テンプレート”を選択→設定ボタンをクリック→“テンプレートとアドイン”ダイアログが表示される。→“アドインとして使用できるテンプレート”で“JIS テンプレート.dotm”にチェック→“OK”をクリック</p> <p>⑤<b>「使用できないアイテム」に指定されている</b>  JDT2011 を起動し、“ファイルメニュー”（Word2007 の場合は“Office ボタン”）→“オプション”（Word2007 の場合はなし）→“Word のオプション”→“アドイン”→“管理”のプルダウンメニューから“使用できないアイテム”を選択し、“設定”ボタンを押す。ダイアログボックス内に“JIS テンプレート.dotm”があるか否かを確認してください。  ある場合は、それを選択した状態で“有効にする”ボタンを押すと、有効になります。</p>

No.	エラー内容	対処方法
2	<p>JDT2011 を起動するときに、次のエラーメッセージが表示される。</p> <p><b>例 1</b> エラー番号 5121 Microsoft Word でエラーが発生しました。</p> <p><b>例 2</b> 実行時エラー '5152':アプリケーション定義またはオブジェクト定義のエラーです。</p>	<p>次のいずれかの方法を行ってください。</p> <p><b>①インストール</b></p> <p>JDT2011 のインストールは、administrator 権限で行う必要があります。administrator 以外のユーザーでログインしている場合は、ユーザー権限を“power user”以上に設定をしてください。</p> <p>“スタートメニュー”→“コントロールパネル”→“ユーザーアカウント”から設定できます（Windows 7 の場合）。</p> <p><b>②マクロの設定 [マニュアル（基本編） p5~7 参照]</b></p> <p>JDT2011 を起動する前に、Word2010 又は 2007 を起動し“ファイルメニュー”（Word2007 の場合は“Office ボタン”）→“オプション”（Word2007 の場合はなし）→“Word のオプション”→“セキュリティセンター”→“マクロの設定”→“デジタル署名されたマクロを除き、全てのマクロを無効にする”に設定します。</p> <p>さらに、“セキュリティセンター”→“信頼できる場所”→“新しい場所の追加”から、インストール先フォルダを選択し、“この場所のサブフォルダーも信頼する”にチェックを入れ、OK ボタンをクリックした後、Word を終了します。</p> <p><b>注記 1</b> “警告を表示せずに全てのマクロを無効にする”又は“警告を表示して全てのマクロを無効にする”に設定している場合、JDT2011 は作動しません。</p> <p><b>注記 2</b> マクロの設定だけでなく、インストール先フォルダとサブフォルダの設定も同時に行わないと、JDT2011 のマクロは正常に動作しません。</p>
3	<p>特定の JDT ボタンをクリックすると、“実行時エラー '4120': 引数が正しくありません。”が表示される。</p> 	<p>“Office ボタン”→“Word のオプション”→“基本設定”→“Microsoft Office のユーザー設定”の“ユーザー名”に任意の文字列（たとえば、“JDT”など）を入力し、“OK”をクリックする。</p> <p><b>注記</b> このエラーは、“ユーザー名”にスペースだけ入力されている場合に発生します。</p>